



## サテライトキャンパス 「企業経営基礎講座」 の最終回を実施

2021年10月よりスタートした、本学サテライトキャンパス「企業経営基礎講座」の最終第10回がコロナ禍の影響による実施日変更などを経て、3月12日(土)に中原別荘(鹿児島市)にて約3時間にわたって行われました。講師は、過去9回の講座で講師を勤めた4名で、金融機関や一般企業で勤務されている約30名が受講しました。

前半は、これまでの受講者からの質問に答えながら内容を深掘りし、後半は、高利益を生み出す企業経営を疑似体験するペーパータワーのグループワークを行いました。ペーパータワーでは、タワーの高さを1cm1億円の売上高に見立て、条件やルールに従い、収支を考えA4のコピー用紙をいかに高く積み重ねられるかをグループごとに競いました。受講者は試行錯誤しながらも、様々なアイデアで『タワー』を建てていました。

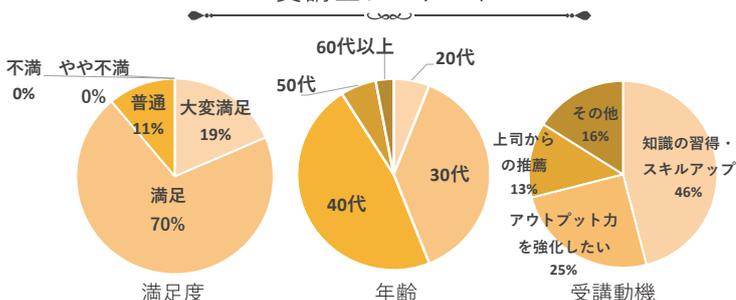
講師の飛田努准教授(福岡大学商学部)は、「ペーパータワーを作る過程には、チームマネジメントや経営者が自分の意図をうまく従業員に伝えられるかといった経営に関わるエッセンスがたくさん出てくる。ここでの気づきをいかに各現場で活かせるかを考えてほしい」と振り返りました。

約9割の受講者から、全10回を通して『満足』『大変満足』の評価をいただき、「色々な業種の方と関わりがもて、非常に良かった」「まわりにもすすめたい」「今後の仕事に活かしていきたい」と好評を得られました。

本講座はさらに磨きをかけて、2022年度も実施する予定です。



受講生アンケート



### 感想

- ・とても勉強になりました。他の社員にもすすめたい。
- ・様々な業種の方と関わりがもて、非常に良かった。
- ・コロナ禍でグループワークが少なかったが、もっと学びたいと思いました。本当に勉強になりました。
- ・このような機会があれば、また参加したいと思います。
- ・大変勉強になりました。今後の業務にいかせるようにしたいです。
- ・経営に興味を持つことができました。



## ふるさと水土里の探検隊事業に参加！

経営学科 西ゼミ

経済学部経営学科の西ゼミ（担当：西宏樹准教授）が「ふるさと水土里の探検隊事業」に参加しました。この事業は、本学が県庁・市役所・土地改良事業団体連合会等と連携し、対象とする地域の活性化に向け、街の現状や課題を共有することを目的に毎年行っています。

2021年度は日置市の日新地区で実施し、11月にゼミ生らが街歩きに参加しました。この街歩きでは、参加者が4コース（二瀨コース・山田コース・日新西部コース・日新東部コース）に分かれて、各コースの現状や課題を確認。その後、地元住民を交えた意見交換を行いました。

また、1月末には最終報告会がオンラインで行われ、西准教授による住民アンケート調査の結果報告と、ゼミ生による活性化に向けた提言がありました。地域住民からは、「若者向けの策をいろいろと知ることができ

て良かった」などの意見ができました。

担当教員の西准教授は「日新地区は、海を照らしながら沈む綺麗な夕日を見ることができ、サツマイモやニンニクを育てるなど農業も盛ん。こうした地域の魅力を活かした活性化策を考え、西ゼミ初のオンラインでの報告会を無事に終えることができました。ゼミ生が提言したピザづくりや木工作品づくりなど、何か一つでも現地で実践して頂けたら有り難い」と述べています。



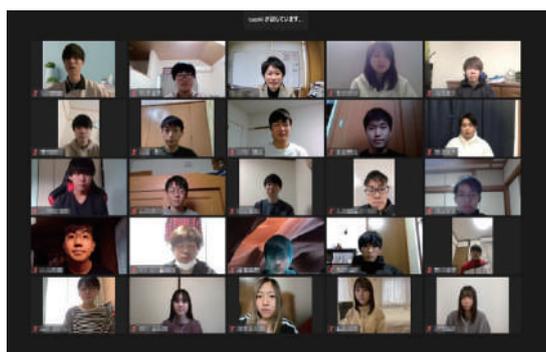
## 串木野商店街研究の報告会をオンラインで開催！

経営学科 西准教授

JR 串木野駅の近辺に位置する串木野商店街の活性化に向けて、調査活動を行った経済学部経営学科の西宏樹准教授が、2月5日に Zoom で最終報告会を開催しました。

はじめに、西准教授による消費者アンケート調査の結果報告が行われ、その後、ゼミ生による串木野商店街の活性化に向けた提言がありました。今回参加されたテンドリー代表の満留氏からは「どのアイデアも実現可能性の高いもので良かった」などの評価をいただきました。

最後に、いちき串木野市役所やいちき串木野商工会議所、現地の方々と交えたディスカッションが行われ、終始活発な研究会となりました。



主催者の西准教授は「新型コロナウイルスの影響により、やむを得ずオンラインでの開催となってしまったが、最後まで現地の方々と意見を交わすことができ良かった。市をはじめ、研究の機会を与えて下さった関係者の皆様に感謝している」と述べています。